

EUに制裁、スイスにも見放された

現在までに、ウクライナ戦争に対するロシアへの制裁として、欧州連合によって59名が制裁対象となっています。その多くはロシア国民ですが、EUは次第に自国民や第三国の市民もこのリストに加えるようになっており、その理由はしばしばロシアとはほとんど関係がありません。その中の一人が私の同胞であるナタリーヤンブで、彼女は実際に2025年6月にリスト入りした最初のスイス国民でした。リンク: ナタリーのYouTubeチャンネル: @nathyamb Neutrality Studies サブスタック: <https://pascallottaz.substack.com> グッズストア: <https://neutralitystudies-shop.fourthwall.com> タイムスタンプ: 00:00:00 イントロと制裁の理由 00:03:25 金融プラットフォームからの排除と資産凍結 00:14:38 渡航禁止と制裁通知 00:20:24 領事支援の拒否と監視 00:31:02 法的救済と司法の罫 00:41:34 政治的要注意人物 (PEP) と銀行取引 00:47:39 心理的影響と支援体制 00:49:33 生き残るための助言とデジタル主権

#Pascal

現在、欧州連合はウクライナ戦争に対するロシアへの制裁の一環として、59人を制裁対象としています。しかし、その多くはロシア国民ではありません。ますます多くのケースで、EUは自国民や第三国の市民を、ロシアとはほとんど関係のない理由で制裁リストに加えています。その一人が、私の同胞であるナタリーヤンブです。彼女は2025年6月、スイス国民として初めて制裁リストに載りました。本日はそのナタリーさんにお越しいただいています。ナタリーさん、ようこそ。

#Nathalie Yamb

こんにちは。お招きいただき、ありがとうございます。

#Pascal

本日はオンラインで参加してくださり、本当にありがとうございます。あなたは実はYouTuberでもあり、ご自身のチャンネルを持っていますね。そして、特にフランス語圏やアフリカ系の世界でも人気があります。なぜなら、あなたはカメルーン出身でもあるからです。お母様はスイス人で、お父様はカメルーン人ですよ？ ありがとうございます。あなたは反植民地主義の活動のために、しばらくの間フランスへの入国を禁止されていました。そして今年6月、制裁リストにも載せられました。何が起きたのか、そしてなぜそうなったと思うのか、教えていただけますか？

#Nathalie Yamb

まず最初に、パスカルさん、招いてくださってありがとうございます。そうですね、実際に私は「制裁カタログ」を更新しました。いわゆる親ロシア的活動のために、欧州理事会の制裁対象者リストに加えられたのです。これは、彼らが人々を制裁リストに載せる際に最も一般的で、最も簡単な理由だと思えます。おっしゃったように、私は主に主権、アフリカの主権、アフリカの解放などの分野で知られています。ロシアウクライナ危機には、ほとんど関わっていません。ただし、アフリカで起きていることに対する国際秩序の偽りの物語や偽善を指摘する場合を除いてです。しかし、制裁声明にはこう書かれていました。私はフランスと西側をアフリカから追い出す活動に忙しい、と。それが、彼らの動機の欄に記されているのです。

#Pascal

今日それを読みました。そこには「彼女はアフリカでのフランスに反対している」と書かれていました。

#Nathalie Yamb

そう、その通りです。そして、それが私がああのリストに載せられた主な理由です。どうやら、アフリカ以外に友人がいると、欧州理事会の基準ではロシアの職員と見なされるようです。ある意味、とても奇妙な話です。しかし、その結果は重いものです。リストに載るということの結果です。最初のうちは、それをあまり深刻に受け止めていませんでした。あなたが言ったように、私はすでに3年前にフランスから制裁を受けていました。フランス領への入国や通過を禁じられていたのです。でも気にしませんでした。私はフランスに行ったことがなかったからです。私はフランスと戦っているのに、行きたいとも思いません。

そのときは気にならなかった。スイスはEUに加盟していないから、自分には関係ないと思っていた。EUの制裁も自分には影響しないと思っていた。だが、それはまったくの間違いだった。スイスはヨーロッパの真ん中にある。物理的にも地理的にも、EU諸国に囲まれている。さらに、スイスの政府や企業は、どうやらブリュッセルの指示に従うことに熱心らしい。自分はスイスが中立国だと思っていた。しかし、実際にはそうではなかった。その結果は非常に重かった。ある日を境に、クレジットカードが次々と停止され、銀行口座が閉鎖され、暗号資産の口座も閉じられた。

#Pascal

あなたのスイスの銀行口座は閉鎖されました。なぜなら、スイスの銀行はスイスの法律の下にあるからです。彼らは口座を閉鎖した理由を説明しましたか？ それとも、閉鎖ではなく資金を凍結したのですか？ 少なくとも「お金をどこに送金すればいいですか？」と聞かれましたか？

#Nathalie Yamb

いや、どちらもだと言いたい。私はスイスにしか銀行口座を持っていない。欧州連合内には、まったく口座を持っていない。私の口座はスイスとアフリカにしかなかった。ある銀行が、まず私の口座を凍結することを決めた。スイスフランの口座とユーロの口座が一つずつあった。彼らはその両方を凍結し、さらに理由を示さずに口座を閉鎖することを決めた。私は弁護士に依頼して、なぜ家賃や保険料、健康保険料などの支払いが止められているのか、説明を求める手紙を書かせた。

アプリで支払いを実行しようとしたが、現実では処理されなかった。それで弁護士が彼らに連絡を取り始めた。弁護士が動いた途端、彼らは口座を完全に閉鎖した。完全にだ。彼らはまだどこかに私のユーロを保管しているが、私はもうアプリにアクセスできない。銀行口座ももうない。彼らは私のお金を持ったままだ。口座は閉鎖され、凍結された状態だ。

#Pascal

凍結されています。口座は閉鎖されています。

#Nathalie Yamb

自分のお金がどこにあるのか分からない。彼らは私の口座を完全に閉鎖した。

#Pascal

でも彼らは「このお金はまだ私たちのところにあります」と書かれた手紙をあなたに渡したのですか？

#Nathalie Yamb

口座を閉鎖する前に、彼らは私に手紙を送ってきました。「では、お金を送金できる口座を教えてください」と書かれていました。そこで、私はスイスで唯一、まだ凍結も封鎖もされていない口座を伝えました。彼らはスイスフランの金額をその口座に送金しましたが、ユーロの金額は消えてしまいました。送金されることはなく、彼らは返答する気もないのです。

#Pascal

彼らはそれを盗んだ。それはとんでもない。いや、もっとひどい。それは盗みだ。つまり、もし凍結しただけなら、それはまだあなたのものだったはずだ。

#Nathalie Yamb

彼らはそれを盗んだ。そう、本当に盗んだのだ。

#Pascal

もう一つのアカウントは？

#Nathalie Yamb

もう一つの口座はポストファイナンスにあります。ご存じのとおり、ほとんどのスイス国民がここに口座を持っています。彼らはユーロ口座を凍結し、スイスフラン口座は制限付きで残しました。もうTwintを使えません。スイスの人なら誰でも知っているアプリです。モバイル決済アプリで、今ではみんながTwintを使っています。さらに、クレジットカードも無効になりました。使えるのは限られた支払いだけです。さらに悪いことに、他の銀行、つまり私が顧客ではない銀行までもが支払いを拒否します。たとえば、UBSです。家主がUBSに口座を持っているため、家賃の送金先がUBSなのですが、ポストファイナンスの口座から家賃を支払おうとしても、UBSはその支払いを拒否します。

#Pascal

つまり、スイス国内の取引でさえ拒否されているのです。

#Nathalie Yamb

まったくその通り、彼らは拒否されている。そう、完全に。それがあなたの悪夢の始まりだ。そして、それが起こるときに海外にいて、クレジットカードもなく、支払い手段もなく、現金も持っていないければ、あなたは迷子になる——完全に迷子だ。そのうえ、あらゆるプラットフォームから切り離される。Airbnbから締め出され、ええと、なんて言うか、GoogleやAmazonからも締め出される。

#Pascal

あなたのGmailアカウントは停止されました。

#Nathalie Yamb

収益化が停止された。私のチャンネルはすぐに完全に収益化を外された。

#Pascal

ユーチューブ。

#Nathalie Yamb

YouTubeについては、そうです。送金先は私のスイス口座でした。制裁の一部は資産の凍結です。もう一つの部分は、ヨーロッパの領土への入国、通過、または上空飛行の禁止です。そして三つ目の制裁は「禁止」です。制裁対象者に対して、誰もサービスや資金を提供してはならないのです。だから、あなたのお金を受け取るビジネスは、制裁違反のリスクを負うことになります。人々はすべてを閉じることを選んでいるのです。そして、それがとても難しくなります。なぜなら、航空会社のような企業でさえ、あなたを乗客として受け入れることを拒否できるからです。

#Pascal

でも、グーグルはアメリカの会社だ。本社は——そう、本社はアイルランドにある。アイルランドは欧州連合の一員だ。

#Nathalie Yamb

そうなんだ。でも先週、エクスペディアでちょっとした出来事があったんだ。エクスペディアはアメリカの会社で、米国に本社があるよね。ヨーロッパとはまったく関係のないフライトチケットを買おうとしたんだ。出発地も到着地もヨーロッパの外で、ヨーロッパの領空を通過することもなかった。お金は支払われたんだけど、その後「チケットの手続きができません」と連絡が来た。それで「支払いは元のカードに返金します」と言われたんだ。そのあと、「今お電話で新しいチケットを予約しますか?」と聞かれた。だから「いいですよ、お願いします」と答えた。そして彼らはその取引を処理したんだ。

彼らは私に新しいチケットを予約してくれた。私は支払いを済ませ、彼らはチケットを送ってきた。しかし24時間後、エクスペディアから2通のメールが届いた。そこには「制裁対象者とは取引できない」と書かれていた。私は制裁対象ではない。アメリカでは制裁を受けていない。制裁を受けているのは欧州連合でのことだ。しかも、そのチケットはアメリカとEUのどちらとも関係のない目的地と便だった。それでも彼らは拒否した。「手続きを進めない。フライトをキャンセルし、返金もしない」と言われた。録音が終わったら、そのメールを送るよ。見ればわかるだろう。

#Pascal

本当に信じられないね。しかもそれはエクスペディアの話で、航空会社がやっているわけじゃないんだ。

#Nathalie Yamb

航空会社の問題ではありません。エクスペディアが私に連絡してきて、手続きを進められないと言っているのです。私はアメリカで制裁を受けているわけではありません。それなのに、アメリカに本社を置くアメリカ企業がそう言うのです。しかも、そのチケットは欧州連合の外にいる顧客のためのものでした。

#Pascal

つまり、これはヨーロッパ共同市場の「長い腕」なんだ。どんな企業でも、問題を完全に避けたいなら、自主的に制裁を実施する。たとえ義務がなくても、そうするんだ。おそらく、社内のコンプライアンス部門や法務担当がそう勧めるんだろう。それで、そのまま実行する。ところで、君は飛行できたのか？

#Nathalie Yamb

アフリカの銀行と同じだ。

#Pascal

彼らはその2便も止めるのですか？

#Nathalie Yamb

そうそう。私も驚いたんです。私は「えっ、アフリカで、なぜ私の口座を閉じたいのですか？」と言いました。すると彼らは「ヨーロッパにコルレス銀行があって、問題を起こしたくないんです」と言ったんです。それで、あなたの口座は全部閉じられたんですか？ アフリカの口座も？ ひとつだけ残っています。銀行名は言いません。言うとその銀行が困るかもしれませんから。アフリカにひとつの口座と、ポストファイナンスの制限付き口座が残っています。

#Pascal

うわ、それは本当にひどいですね。飛行機はどうですか？ つまり、航空会社はあなたの搭乗を許可してくれるのですか？ 制裁を受けてから、飛行機に乗ることはできましたか？

#Nathalie Yamb

私はこれまで飛行機に乗ることができたが、リストに載っているために、航空会社が「あなたを乗客として受け入れたくない」と言うリスクがある。すべてはつながっている。空港で入力すれば、すぐに分かる。私は運が良かった。ヨーロッパの航空会社を使うのをずっと前にやめたからだ。必要がない限り、いつも他の航空会社を使う。ヨーロッパの会社ではない。だから今のところは問題ない。ただ、例えばヨーロッパの空域を通過する便に乗らなければならない場合、どうなるかは分からない。もしかすると、顧客としては受け入れてくれるかもしれないが、そのルートではダメかもしれない。ヨーロッパの空域を飛ぶ行程では拒否されるかもしれない。まだそのような経験はない。どうなるか、見てみよう。

#Pascal

しかし、ここで次の質問になります。つまり、スイスの市民として、あなたには帰国する権利があります。それは国際法上の基本的な権利です。私の知る限り、自分のパスポートを発行した国、つまり自分が市民である国に戻ることは、人権の一つです。そして、あなたはまだ帰国できていないのですか？

#Nathalie Yamb

いいえ、私はまだ戻ることができていません。そして同じことが、たとえばジャックボーやグザヴィエモローにも起こるでしょう。欧州理事会は二つの文書を発行します。一つ目は、あなたに制裁を科すという決定書です。それはあなたも見たもので、理由などもすべて記されています。

#Pascal

そのものは、受信箱に届くのですか？ それとも郵便受けに届くのですか？

#Nathalie Yamb

いいえ、違います。私はそれをオンラインで受け取りました。なぜなら、もし彼らがあなたに直接渡せない場合、あるいは渡したくない場合でも、「欧州連合官報」に掲載すればそれで十分だからです。彼らにとってはそれで済むのです。だからそうなったのです。私はそれをグーグルで検索していました。多くの人から「お気の毒に」といったメッセージを受け取った後、自分の名前を検索したのです。私はちょうど飛行機を降りたところでした。飛行機に五時間、五時間半ほど乗っていました。着陸して外に出るまで、そのことについては何も知りませんでした。

最初に届いたWhatsAppのメッセージは、弁護士からのものだった。「知らせを受けました。待機しています。」と書かれていた。私は「え？何を待機しているの？なぜ？」と思った。それで自分の名前をグーグルで検索した。すると、自分が制裁を受けたことを知った。誰からも連絡は来ない。手続きについても知らされない。彼らと会って話し合う権利も機会もない。「あなたはこれをしたと非難されています。では、私はそれを否定する証拠を示します。」そんなやり取りは一切ない。突然、何の前触れもなく決定が下される。それで終わりだ。決定書を受け取ると、もう一枚の書類がある。それが「欧州連合の規則」だ。

そして2024年、彼らはヨーロッパでの親ロシア的な活動に対して制裁を実施することを決めた。その「レグルマン」と呼ばれる規定の中で、第1条にはヨーロッパの領域の定義が書かれており、そこには空域も明確に含まれている。だから、たとえ彼らが「帰りたければ帰っていい」と言ったとしても、その決定に関連する規則の中では、明確に「飛行して帰ることはできない」と定められている。そして、もしある企業があなたを搭乗させてスイスに連れ戻すことを決めたとしても、あなたが再びスイスを離れる機会を得られる保証はないのだ。

#Pascal

ああ、ああ、もちろん。理想的な場合は、日本の九州よりも小さい国に行って、自分を閉じ込めるんだ。うん、えっと…

#Nathalie Yamb

そうだね。特に、極めてデジタル化された国ではそうなんだ。すべてのデジタルプラットフォーム、デジタル決済——あらゆる支払い、あらゆる取引——から切り離されたら、結局そこに留まって、家賃が払えずホームレスになるかもしれない。なぜなら、言ったように、私の取引先ではない銀行でさえ、私の支払いを拒否しているからだ。私は戻るつもりはない。戻って、何の手段もない「野外の牢獄」に閉じ込められる危険を冒したくない。だから、とても難しい決断なんだ。

#Pascal

スイス人はどうしたの？ つまり、こういう時こそ領事サービスの支援が必要なんだ。大使館に行って、「助けてほしい」と伝えるんだ。海外で刑務所に入ることになったとしても同じだ。行って、「助けてください」と言うんだ。

#Nathalie Yamb

彼らは何もしなかった。何もなかった。言った通りだが、私はアフリカの国に飛行機で到着したときに、自分が制裁を受けたことを知らされた。それで弁護士が現地のスイス大使館に連絡し、こう言った。「私の依頼人は今この国に到着しました。彼女が欧州連合の制裁リストに載ったことを知りました。支援や領事サポートなどをお願いできますか？」しかし彼らは「いいえ」と答えた。欧州連合の代表団と直接連絡を取るようにと言われたのだ。

#Pascal

彼らはあなたに、ヨーロッパ人と連携するようにと言った。あなたを制裁したまさにその人たちとだ。彼らは助けを拒んだのか？ 「どうぞ、私たちのところへ来てください」とは言わなかったのか？

#Nathalie Yamb

はい、彼らは拒否しました。私の弁護士が彼らとやり取りしていたので、その証拠は書面でも持っています。だから、私が言っていることはすべて証明できます。はい。

#Pascal

腰抜けの連中だよ。でも、いや、本当に、あいつらは何のためにいるんだ？ 真面目な話、こういうのは緊急事態なんだ。本当にこの種の支援が必要なときだ。だって、これは第三者が自分たちを攻撃している状況なんだろう？

#Nathalie Yamb

しかし聞いてください。スイスの外交官による、反応のない領事支援を経験するのは、これが初めてではありません。2019年、私はソチで開かれた第1回ロシアアフリカ首脳会議に招待されました。アフリカの国家元首はほとんど全員、少なくとも50人は出席していました。私は講演を依頼され、7分間のスピーチを行いました。そのスピーチの後、エマニュエルマクロンが激怒しました。私が「フランスアフリック」について語ったからです。それは私の闘いの核心であり、彼はそれを気に入らなかったのです。その後、私は当時住んでいたコートジボワールに戻りました。すると、マクロンはコートジボワール大統領に電話をかけ、私は逮捕されました。

私は拘留され、その後コートジボワールからスイスへ追放されました。そうしてスイスに戻ったのです。実際のところ、普通は黒人がヨーロッパからアフリカへ追放されるものですが、私はアフリカからヨーロッパへ追放されたのです。それはとても興味深いことでした。拘留期間中、そしてその前から、警察が来たときのことです。彼らは私がある場所にいると思い込み、6台ものパトカーで逮捕しに来ました。でも実際、私はそこにはいませんでした。だから彼らは引き上げるしかなかったのです。その出来事は公になり、あなたが言ったように、インターネット上で広まりました。アフリカでは多くの人が私のことを知っているのです、大騒ぎになりました。「イボワール警察がナタリーヤンブを逮捕しようとしている」といった話が広まったのです。

彼らが来て、月曜日に警察署へ出頭するようという紙を置いていった。それは金曜日のことだった。その紙を受け取った後、私はスイス大使館に連絡して「見てください、こういうことが起きています」と伝えた。まったく反応がなかった。完全に無視された。それで私は行ったが、拘束され、そのまま何も持たずに国外追放された。本当に、何もなかった。コートジボワールの口座も凍結された。私は少し慣れているが、それでも口座は5、6か月も凍結された。12月3日に到着した。ヨーロッパでは冬だ。私は夏のワンピース、夏の靴、ハンドバッグだけで到着した。それ以外は何もなかった。

書類もない。服もない。お金もない。何もなかった。2019年、私はその状態でコートジボワールを離れた。そしてスイス大使館はまったく助けてくれなかった。完全に不在だった。さらに悪いことに、スイスに到着してからスイス人の弁護士を雇ったところ、彼がこう言った。「スイスにはデータに関する法律があって、自分に関するデータを当局に請求できる。彼らはそれを提供しなければならぬ。」そこで私たちは請求した。外務省に私のデータを求め、さらに秘密情報部門——ボーが働いていた情報機関にも求めた。

私たちは政府に、私に関する書類を送るよう求めました。そして聞いてください。私たちが受け取ったファイルは、とても遅れて届きました。本来なら30日以内に提供されるはずだったと思いますが、彼らは6か月もかけました。理由は「COVIDで忙しい」などと言っていました。ようやく外務省（Département des Affaires Étrangères）が私に関して持っていた資料を手に入れたとき、スイス大使とコートジボワール政府とのやり取り、さらにベルンの省庁とのやり取りも見ることができました。彼らは本当にそのレベルで情報を交換していたのです。はい、確かにそうです。そして、私を支援しないようという命令が出ていたのです。それは書面で確認しています。ええ、間違いありません。

#Pascal

スイスがあなたを支援しないように命じたのは誰ですか？

#Nathalie Yamb

言えるのは、ベルンのEDA省の職員が、コートジボワールのスイス大使に宛てて書いたものだったということだ。

#Pascal

「彼女を助けるな」と言った。

#Nathalie Yamb

そうだね、目立たないようにしておいたほうがいい。放っておこう。全部送るよ——見ればわかる、これ以上のものはないよ。

#Pascal

これは、私の考えでは——そう、私の考えでは違法行為であるべきだ。市民への支援を拒むなんて。スイスの外交官の友人に聞いてみる必要がある。少なくとも二人はいる。

#Nathalie Yamb

本当に驚いたよ。それに、情報機関が私について持っていた資料を受け取ったとき、多くのページが黒塗りだった。完全に真っ黒だったんだ。外務省のものも同じように大部分が黒塗りだったけれど、一か所だけ塗り忘れていた。今話しているのは、その部分のことだ。でも、ほとんどは黒塗りだった。その二つの文書、あるいは二つのファイルを受け取ったあと、私は弁護士に尋ねた。「私はスイスの敵と見なされているのですか？ なぜ私の大使館は助けてくれないのですか？ なぜスイスの情報機関は、私に関する文書を黒塗りにしているのですか？ 本来、私に提供すべき文書なのに。いや、そもそも、なぜ彼らがそんな文書を持っているのですか？」

#Pascal

そもそも、なぜ彼らはあなたのデータを集め始めたのですか？ というか、すみません、ちょっと驚いています。あなたがフランスと問題を抱えていることは知っていました。でも、それがスイスの外交部門や情報機関にまで及んでいて、あなたが監視されていたなんて思いもしませんでした。

#Nathalie Yamb

いや、でもそれは実はとても普通のことなんだ。なぜならアフリカではそうだからだ。今あなたが感じている驚き——ヨーロッパの真ん中で見つけたこのディストピア的な世界への恐怖——それこそが、私がアフリカでずっと闘ってきたものなんだ。フランスアフリックとはそのことだ。秘密工作、政府がアフリカ諸国に干渉すること、それが本質だ。そして、彼らの望むことに従わなければ、制裁され、罰せられ、時には殺される。国家元首であろうとなかろうと、彼らは簡単に殺すことができる。だから、私にとっては新しいことではない。でも、あなたが衝撃を受けるのは理解できる。なぜなら、それが現実だからだ。それが私の二十年来の闘いの核心なんだ。そして今、その現象がヨーロッパにも広がっている。

#Pascal

ああ、ヨーロッパにも広がっているんだ。そして、彼らは圧力を強める方法を見つけた。だから今、私たちはロシア制裁の段階にいる。つまり、ウクライナ戦争を終わらせるために使われるはずのものだよ。そう言われている。ロシアに圧力をかけて戦争を終わらせるためのものだ。でも実際に起きているのは、彼らがその制裁を自国民や第三国、つまり気に入らない相手にまで使っているということだ。制裁をねじ曲げて、人々の生活をひどくしている。ええと……他に何を聞いたかったんだっけ。今のあなたの経験についてだ。すべてがどれほど難しくなっているか。具体的なことは言わなくていいけれど、この状況の中で、どうすればまだ「生きる」ということができるのか。どんな方法があると思う？

#Nathalie Yamb

生き延びることはできる。だが、その制裁に対しては、ルクセンブルクの欧州裁判所に不服申し立てをすることができる。そこだけが行ける唯一の裁判所だ。

#Pascal

欧州司法裁判所。つまり、それがEUの司法部門ということだね。

#Nathalie Yamb

そのとおりです。まず最初に審判所があります。その後、欧州連合司法裁判所に上訴することができます。それが最終段階です。

#Pascal

4人だね。そう、「司法裁判所」だ。

#Nathalie Yamb

そうです。つまり、彼らはその二つを持っていて、あなたもそれを行うことができます。ただし、スイスの銀行に対しては対抗しなければなりません。なぜなら、スイス政府が採択していないのに、ヨーロッパの制裁を適用するスイスの銀行や企業は、違法行為をしているからです。彼らは本来、それをしてはいけないのです。そして、私たちはSECOに書簡を送りました。

#Pascal

私の弁護士はSECOと連絡を取り、その事実には注意を向けさせました…

#Nathalie Yamb

だから私の弁護士たちはこの件をSECOに持ち込み、SECOに注意を促した。つまり、「あなたたちはスイスではナタリーヤムに対する制裁を採用していないと確認している。だが、スイスの企業の中には、法律で禁じられているにもかかわらず、その制裁を適用しているところがある」という点だ。その返答はこうだった。「そういうことなら、あなたが望むなら裁判に訴えても構いませんよ。」

#Pascal

そうか、それは実は知らなかった。これはかなり重要だ。つまり、スイスの法律では、企業が自発的に外国の制裁に従うことは違法なんだ。それは本当に重要な点だ。でも、あの腰抜けなスイスの機関たちは——ごめん、ごめん、でも……スイスという国自体がとても腰抜けなんだ。こんなこと言いたくないけど、私たちは官僚と管理者に支配された、決して自分の首をかけようとする国なんだ。ちょっとそれを言っておきたかっただけだ。それで彼らはこう言うんだ、「あなたが彼らを訴えなければなりません。私たちは介入しませんし、彼らにやめるよう指示もしません」と。

#Nathalie Yamb

そう、その通り。まったくその通り。それで、ルクセンブルクで欧州理事会を訴えなければならなくて、さらにスイスではスイスの銀行を訴えなければならない。そうになると、お金が必要になる。多分みんな知らないかもしれないけど、スイスで弁護士を雇うのはものすごく高い。しかも、自分のお金は凍結されて使えない。だから、まるで終わりのない悪夢みたいなんだ。本当に大変なんだよ。

#Pascal

知っているだろう、こういうことをやっている人たちは、それをとても誇りに思っているんだ。昨日、ドイツのフロリアンワーベックが行ったインタビューを、あとで送るよ。正確にはインタビューというより、彼は記者会見に出ていて、ジャックポーについて質問したんだ。彼はこう言った。「これでいいんですか？ ドイツ政府は、EUがスイス市民を制裁することを認めているんですか？」すると、彼らの答えは少し皮肉っぽくて、こんな感じだった。「もし制裁されているなら、それはEU当局の決定です。だから話すべき相手は私たちではなくEUです。私たちはドイツであつ

て、EUではありません。それに、そういう人たちはいつでも裁判に訴えて、自分の潔白を証明できますよ。」まるで「はは」と笑っているようだった。

#Nathalie Yamb

でも、あなたは何も非難されていない。彼らがあなたを非難したんだ——まあ、私は今、EU理事会に対して起こしている訴訟に関して、すべてを明かすことはできない。だが、理事会の文書を受け取ったとき——つまり、私は彼らを法廷に訴えたのだが——彼らの決定、制裁は行政的な措置だ。司法的な措置ではない。そう、法律がないからだ。あなたがしたことを禁じる法律は存在しない。いや、ない。ジャックボーがプーチンの代弁者だと書いている人を見たが、それはナンセンスだ。だが、仮に彼がプーチンのために話していたとしても、それを禁じる法律があるのか？ ない。そこが重要なんだ。だが、彼らがそのファイルを送ってきたとき、私は内容に驚きはしなかったが、恐ろしく感じた。ヨーロッパの機関が、あのレベルで、人々を記事——ただの新聞記事——に基づいて制裁しているのを見たからだ。ナタリーヤム、彼女はクレムリンと非常に近い人物だが……

#Pascal

彼はクレムリンと非常に親しかった。

#Nathalie Yamb

クレムリンが、私が彼らと非常に親しいと聞いて驚いているに違いありません。正直なところ。ナタリーヤムはソチのロシアアフリカフォーラムに出席しました。ええ、でも私もパリのフランス国際関係研究所に招かれました。そして、そこで同じことを言いました——それは2017年のことです。ソチで言ったのとまったく同じことを言いました。2017年、パリで言いました。パリで開かれた会議に出席したからといって、私はフランスのエージェントなのでしょうか？ そこには大臣、外交官、軍関係者、学生、研究者がいました。私は発言しました——それはインターネット上にあります。公開されています。YouTubeにもあります。私が何を言ったか見られます。私はそれを、ウクライナやロシアに足を踏み入れる2年前に言いました。私はドンバスで選挙監視員をしたと非難されました——たぶん去年か一昨年のことだと思います。突然、ツイッターで、ヨーロッパの機関が「私が昨年ドンバスで行われた選挙に監視員として出席した」と書いているのを見つけました。私はこれまでの人生で一度もドンバスに行ったことがありません。どうしてそんな話になったのか、まったく分かりません。

#Pascal

でも、それが問題なんだ。つまり、制裁の正当化はたった一つの段落で済む。その中には何でも書ける。事実である必要はない。本当に、何でもいいんだ。たとえば「宇宙人と話した」「宇宙人と共謀した」と告発されるかもしれない。それでも通ってしまう。あるいは「魔女であり、EUに対して魔術を使った」と言われるかもしれない。それでも有効なんだ。結局のところ、あなたの名前がデータベースに載っているからだ。しかもあいつらは、そのデータベースにAPIまで用意して、どの航空会社でも自動的に照会できるようにしている。さらに、それを積極的に配布している。これは司法手続きではない。通常の司法手続きなら、「有罪が証明されるまでは無罪」と推定されるはずだ。だが、これは司法手続きですらなく、行政手続きなんだ。そして、リストから自分の名前を消すための負担は、すべて本人にかかる。狂っているよ。

#Nathalie Yamb

そうだ、これは狂気だ。なぜなら、今でも、つまり、私の弁護士たちと一緒に、それを掘り下げ始めているところなんだ。彼らは手続きの途中で、動機として書いた内容さえ変えることができる。たとえば、彼らに対して争って勝ったとしよう。すると彼らは控訴する。その控訴の中で、別の動機を追加する。範囲を広げ、少し曖昧にして、また最初に戻ることになる。二度、三度勝った人たちもいるが、それでもまだ制裁を受け続けているんだ。

#Pascal

ちょっと待って、待って、待って。それはとても重要だ。たとえ欧州裁判所で勝っても、委員会がそれを変更して、あなたをそこに残すことができるの？ それでまた最初からやり直さなければならないの？

#Nathalie Yamb

最初から悪夢のようだ。口頭で、カフ力的で、何でもありだ。だがそれは、現実には——

#Pascal

実際のところ、彼らにあなたを外させる法的な手段はありません。彼らはその定義を行政的に無期限で更新できるのです。つまり、あなたは彼らの慈悲にすぎない——文字通り、彼らの慈悲に。

#Nathalie Yamb

すべての市民は、これらの人々——顔の見えない官僚たち——の支配下にある。私が制裁を受ける前、たしか2023年のことだが、イングランドの州立銀行、つまり地元の銀行に口座を持っていた。ところが、突然、彼らは私の口座を閉鎖したいと言い出した。私は尋ねた。「なぜ私の口座を閉じたいのですか？」数か月にわたる議論と会合の末、彼らはずいに理由を明かした。「あなたはPEP——PEPだからです」と。私は驚いて言った。「なぜ私がPEPなのですか？」PEPとは「政治的に影響を受けやすい人物（Politically Exposed Person）」を意味する。しかし、PEPという概念が作られた当初、それは国家元首やその家族、公的資金を管理する人々を対象としていた。彼らが汚職などに関与していないかを確認するための仕組みだった。私は公的企業で管理職に就いたことは一度もない。公的資金を扱ったこともない。そして、どの国家元首とも、近くも遠くも、血縁関係はない。

父は大工です。母は仕立て屋です。だから正直に言えば、私たちは小さな人間です。小さくて、働き者の人間です。それで私は聞きたいのです。どうして私が、誰が私をそのリストに載せたのですか？ どうして私は「政治的に影響を受けた人物」というものに入ってしまったのでしょうか？ うわさで聞いたところによると、それはフランスから来たそうです。フランスにはGAFIがありますから。そして彼らがあなたの名前をリストに載せると、突然、新しい銀行口座を開けなくなるのです。今の銀行口座でも、彼らはあなたを排除しようとしています。このリストは、本来は政府関係者やその親族のためのものでした。また、テロ資金、武器、麻薬の資金提供者を特定し、追跡するためのものでした。私はそのどれでもありません。どれでもないのです。私は普通の市民です。スイス人であり、カメルーン人であり、アフリカ人です。小さな生活を送り、動画を作っています。あなたも私の動画を見たことがあるでしょう。

#Pascal

つまり、あなたの動画はそこにあるんですよ。それに、私のチャンネルには何人もいます。ヨーロッパが今でもアフリカの多くの地域を封建領のように扱っていると証言する人たちです。経済的な封建領として、搾取できるものとして扱っている。そして、あなたはそれに反対の声を上げている。新植民地主義は暴かれるべきです。あなたはそのために罰を受けている。アフリカの活動家たちも同じように罰を受けている。そして、あなたはスイス人でもある。まったくその通りです。

#Nathalie Yamb

あなたはリストに載っている。その話をするのは、一度リストに載ると、二度と外されることはないからだ。

#Pascal

うん。

#Nathalie Yamb

誰があなたをそのリストに載せたのか、本当のところは分からない。そして、なぜ載せられたのかも分からない。だから、そのリストから外れるのは難しい。

#Pascal

それは行政による処罰だ。司法ではない。そして今、彼らはそれを逆にしている。皆さん、はっきりさせておきたい。ヨーロッパの人々は、何十年もの間、このやり方をヨーロッパの外の人々に対して使ってきた。そして今、それを内側に向け、自国民に対して使い始めている。知っておいてほしい。他の人々は何十年も、このような「でたらめなやり方」の犠牲になってきた。それは司法的な手続きではないのだ。

#Nathalie Yamb

まったくそんなことはありません。そしてとても難しいです。なぜなら、終わりが見えないからです。それはまた、家族にも影響します。たとえば、私にはスイスに住む息子がいます。彼は私のしていることとは本当に関係がありません。しかし同じ名前を持っているため、ときどき支払いをすると、お金が送り返されてしまうのです。

#Pascal

本当ですか？

#Nathalie Yamb

そう。そう。こうして始まるのです。そしてある日、あなたは自分の家族、親族が制裁のただ中にいることに気づく。彼らは制裁の巻き添え被害者になるのです。私の息子もそうです。私はもうすぐ祖母になる予定ですが、そこに行くことはできません。帰ることができないのです。そこにいることはできません。母は来年80歳になりますが、私はそばにいられません。そうしたことが本当に影響を与えるのです。そしてそれこそが、制裁の狙いなのです。それはあなたの精神的健康に影響を与えるためのもの。あなたの決意や忍耐力に影響を与えるためのもの。経済的にも、道徳的に

も、心理的にも打撃を与えるためのもの。そうしてあなたが問題の解決に追われ、自分の闘い——反帝国主義、反植民地主義、あるいは他のどんな闘いであれ——を続ける時間を奪うのです。つまり、それが彼らの望むことなのです。そして、正直に言えば、それはとても恐ろしいことです。

#Pascal

こんな状況で、どうしてまだ笑っていられるのか不思議だ。つまり、自分の心の中ではどうやって対処しているの？ その瞬間、自分を守るために何をしたの？

#Nathalie Yamb

制裁のことを聞いたとき、ちょうど外国にいたのは本当に幸運だった。そこには友人がいて、それがすぐに支えになってくれた。経済的にも助けてくれた。ホテルの支払いをしようとしても決済が拒否される。水を買おうとしても拒否される。何もできないと気づく。だからこそ、強い支えが必要になる。人間らしくいられるように助けてくれる友人がそばにいることが大切だ。本当に、何もできないのだ。ばかげて聞こえるかもしれないが、ただ何かを見たり、音楽を聴いたりしたくなる。

私はDeezerのアカウントを持っていて、音楽チャンネルをつけようとしたら、切断されていた。「何だこれは?」と思った。音楽も、Netflixも、全部切られていた。つまり、自分のしていることすべてから切り離されてしまう。本を買いたいと思っても、普通ならAmazonやFnacなどで注文して届けてもらう。それももうできない。変えなければならない。占領されたヨーロッパの外に、自分のまわりに新しいエコシステムを作らなければならない。私は、ヨーロッパはもう自由ではないと思う。だから今は、ヨーロッパの外にある銀行やプラットフォームを探し始めなければならない。すべてを再構築する必要がある。

#Pascal

とても良い指摘ですね。何か助言をもらえますか？ というのも、今は59人になっています。今のところスイス人は2人だけですが、これからもっと増えるでしょう。何百人、何千人、もしかすると何万人にもなるかもしれません。このツール——彼らは手放さないでしょう。欧州連合はこの仕組みを無期限に維持するという強い見方があります。ロシア制裁リストです。たとえ戦争が終わっても、ロシアが賠償金を支払うかどうかに関係なく結びつけられるからです。彼らはこのツールを保持し、どんどん人を追加していくでしょう。では、人々はそれに載る前に何をすべきでしょうか？ もし恐れているなら。私も今、怖いです。怖い。自分のしていることをやめたくない場合、どうすればいいのでしょうか？ そして、もし実際に載ってしまったら、そのときは？ どんな助言がありますか？

#Nathalie Yamb

あなたは世界の別の地域にいるので、少し有利かもしれませんね。おそらく日本や他の国に、すでに銀行口座などを持っているでしょう。まず最初の助言は、「制裁が適用されない場所に銀行口座を持つこと」です。中国や、制裁を体系的に適用していない他の国で、UnionPayのクレジットカードを作るようにしてみてください。なぜなら、一部の国は、国連や時にはOFACが課す国際制裁だけに従うからです。アメリカ人は「世界のカウボーイ」みたいなものですからね。でも、その影響力も少しずつ弱まっています。ですから、制裁が適用されていない地域——アジアやアラブ世界など——で、銀行口座などを持つようにしてみてください。

#Pascal

居住者でない国で銀行口座を開くのは簡単ではない。しかし、少し調べればできることだ。

#Nathalie Yamb

方法はあるけれど、本当に面倒なんだ。正直に言うと、いつかアドバイス動画、チュートリアルを作るべきかもしれない。「ぜひお願いします。」 そうだね、やってみようかと思う。というのも…いや、本当に。笑い話のようだけど、実際は笑えない。これは生き残りの問題なんだ。暗号資産を扱っている人は、Binanceやその他の中央集権型プラットフォームから離れたほうがいい。なぜなら、アカウントを閉鎖されるからだ。制裁リストに載った瞬間、そうしたプラットフォームにはアクセスできなくなる。だから外部ウォレットに移すんだ。LedgerでもTrezorでもいい。そこへ行け。MetaMaskでもいい。そこへ行け。そして本質的な部分として——そう、もちろんソーシャルメディアのプラットフォームやプロバイダーなども——ヨーロッパの外にいる提供者を探すことだ。

#Pascal

YouTubeチャンネルを取り戻して、再び収益化できましたか？

#Nathalie Yamb

いや、いや、まだ持っているよ。削除されていない。いくつかの動画は削除されているけれど、チャンネル全体ではない。だが、収益化は停止された。なぜなら、グーグルの拠点がアイルランドにあるからだ。

#Pascal

うん。

#Nathalie Yamb

彼らはアイルランドから支払っています。アイルランドは欧州連合に属しています。だから、制裁を受けている人々にサービスを提供したり、資金を送ったりすることはできません。

#Pascal

でも、まだチャンネルはある。まだ動画を投稿できるし、できるんだ…

#Nathalie Yamb

今のところはまだ投稿できるけど、いずれ削除されるかもしれない。つまり、ディアナパンチエンコもジャックやグザヴィエと一緒に前回のリストに載っていた。彼女は約200万人のフォロワーがいるYouTubeチャンネルを持っていた。そして制裁の前、たしか3、4か月前に、YouTubeが何の説明もなく彼女のチャンネルを削除した。それを覚えているのは、彼女がそのことについて書いた投稿を私がリツイートしたからだ。

#Pascal

これらは別の仕組みです。制裁の仕組みではありません。同じ人たちが関わっているかもしれませんが、別の経路でプラットフォームに圧力をかける形で行われています。だからこそ、私たちは動画をRumbleや他のプラットフォームにバックアップする必要があるのです。そうですね。

#Nathalie Yamb

それが言いたかったことだ。それがポイントなんだ。他のプラットフォーム、たとえばRumbleなどでも支えなければならない。私はよくアフリカの人たちに言う。私たちは自分たちのプラットフォームを持つ必要がある、と。客である限り、そのプラットフォームの所有者ではない。他人が作ったルールに従わなければならない。なぜなら、あなたはただの客、つまり利用者だからだ。ルールが変わっても、それは運が悪かったというだけのことだ。

#Pascal

もうすぐ行かないといけないのは分かっています。ところで、ジャックポーについて、何か他に勧めることはありますか？ 彼は月曜日からそのリストに載っています。今すぐやるべきことはありますか？

#Nathalie Yamb

そうですね、彼はまず最初に、EUの外に口座を作るべきだと思います。本当に、まずはそこからです。それから、たとえば、彼の編集者がフランスにいると聞いています。それが彼の本の編集者なのかどうかは分かりませんが、たぶんそこから収入を得ているのでしょう。だから、EUの制裁などに従う必要のない別の出版社と契約する方法を探すのがいいかもしれません。彼にとっては、整理しなければならないことがたくさんあります。スイスに家族がいるのかどうかは分かりません。もちろん、彼はスイスに戻ることもできます。国境の近くに住んでいると思うので、車でも行けるでしょう。ただ、彼が本当にそうしたいかどうかは分かりません。そもそも彼がスイスを離れたのには、それなりの理由があったのですから。

#Pascal

そうだね。彼がスイスに行ったら、もうEUには戻れなくなるよ。つまり、そこに閉じ込められるってことだ。

#Nathalie Yamb

それが問題なんだ。実際、それこそが問題なんだ。だから私にとっては、つまり——EUから抜け出そうとするようなものなんだ。トルコはヨーロッパのあらゆる場所に近く、世界中を飛ぶとても良い航空会社を持っている。そういうことを考えてみて——自分の立ち位置を変えることを。

#Pascal

皆さん、今や私たちは、EU市民やスイス市民に「どのようにしてこの大陸から逃げるか」を助言する段階に来ています。これこそが、ブリュッセルのあの怪物がやり遂げたことです。そしてもう一度言いますが、彼らは何十年もの間、この大陸の外の人々に対しても同じことをしてきたのです。念のために言っておきます。

#Nathalie Yamb

それにね、ジャックの件でも言われているのは、彼がウクライナに反することをしているからだというんだ。でも、ウクライナはそもそも欧州連合の一員じゃない。それなのに、スイスのようにEUに属していない国の人々を、EUに属していない国——ウクライナ——についての発言で制裁する。こ

れは狂気だ。完全な狂気だ。でも君が言ったように、彼らはずっと前からそうしてきた。アフリカでは、何十年も何十年もその経験をしてきた。これがアフリカでの新しい「普通」なんだ。だから、私が少し笑っているのを見ても不思議じゃない。私たちはそれを乗り越えてきたからだ。それこそが、私が闘っているものだ。新しいことではない。でも、スイスがそこまでEUに従順だとは正直驚いた。そして、二国間条約だとか、そういう話をしているのを見ると、私はこう思う——もう終わった。私たちは国を失ってしまったんだ。

#Pascal

ナタリー、言わなければならない。この計画がどれほど嫌悪すべきものか、気づかなかったことをもう一度謝る。そして、君に何が起きていたのか、これがアフリカの人々にどう使われていたのか、知らなかったことを謝りたい。知らなかったことが本当に申し訳ない。約束する。もし可能なら、彼らに代償を払わせるよう努力する。おそらく、先に私が代償を払うことになるだろう。私たちはつながらなければならない。つながる必要がある。

#Nathalie Yamb

私にとって唯一の解決策は連帯です。それは国境を越え、大陸を越えて広がります。それは人間性、人権という本来の意味に関わる問題です。そう、本来の意味での人権です。だからこそ、私たちはすべての力、すべての考え、そしてすべての粘り強さを一つにしなければなりません。なぜなら、私たちが戦っている敵は怪物だからです。一人では少しは打撃を与えられても、打ち砕くことはできません。私たちは共に強固な仕組みを築き、この世界規模で押しつけられようとしているディストピア的現実に立ち向かわなければなりません。

#Pascal

最初のポイントは、人々が自分の経験やヒント、あらゆることを共有できるプラットフォームを作ることです。つまり、アイデアを共有し、そこから発展させていくということです。私は「集団的な行動」を意味しています。ただし、ピラミッド型の組織を作るのではなく、完全にフラットなネットワークを作るのでもありません。

#Nathalie Yamb

そのとおりです。

#Pascal

ナタリーさん、今日はお時間をいただき本当にありがとうございます。

#Nathalie Yamb

ありがとう、パスカル。メルシー、ありがとう。